

(一社)北海道商工会議所連合会 中小企業景況調査報告書

第181回 調査概要

- ・調査対象期間 : 2026年1~3月期 実績
2026年4~7月期 見通し
- ・回答数 : 345社
- ・発行日 : 2026年 4月21日

今期業況・来期見通し

緩やかな回復に足踏みがみられる。先行きは、持ち直し基調が続くと見込まれるものの、中東情勢の緊迫化に伴う懸念の声は幅広い業種・地域から上がっており、先行きの不透明感が増している。

■主なコメント

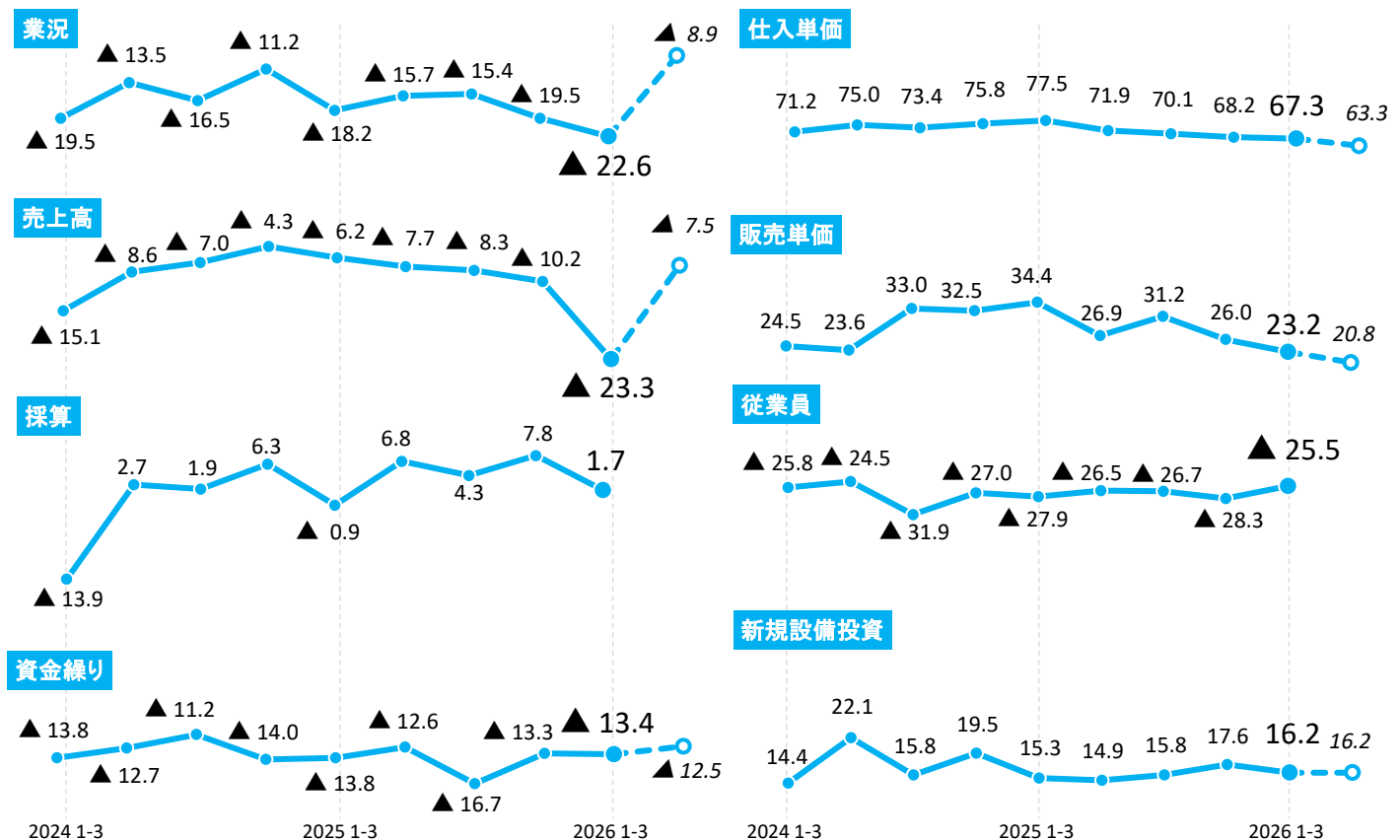
- ・来期は、大型プロジェクトの本格稼働を想定し業況の好転を予想しているが、米国・イスラエルとイランの軍事衝突の影響が懸念材料としてある。 (金属製品製造)
- ・中東情勢が深刻ななか、円安、利上げ、原油高すべてが建設業界にとって痛手。一日も早い平穏化をを望む。 (ゼネコン)
- ・今期はCPIを上回る水準で賃上げを実施。市場全体でITエンジニア等の賃金水準上昇が続いており、人材流出防止の観点から処遇を改善。取引先との契約単価の見直し等で原資確保を進めるも顧客予算とのバランスが課題。 (ソフトウェア業)

■全産業D・I

	2024 1-3	2024 4-6	2024 7-9	2024 10-12	2025 1-3	2025 4-6	2025 7-9	2025 10-12	2026 1-3	2026 4-6(見通)
業況 (前年同期比)	▲ 19.5	▲ 13.5	▲ 16.5	▲ 11.2	▲ 18.2	▲ 15.7	▲ 15.4	▲ 19.5	▲ 22.6	▲ 8.9
売上高 (前年同期比)	▲ 15.1	▲ 8.6	▲ 7.0	▲ 4.3	▲ 6.2	▲ 7.7	▲ 8.3	▲ 10.2	▲ 23.3	▲ 7.5
採算 (今期の経常損益)	▲ 13.9	2.7	1.9	6.3	▲ 0.9	6.8	4.3	7.8	1.7	-
資金繰り (前年同期比)	▲ 13.8	▲ 12.7	▲ 11.2	▲ 14.0	▲ 13.8	▲ 12.6	▲ 16.7	▲ 13.3	▲ 13.4	▲ 12.5
仕入単価 (前年同期比)	71.2	75.0	73.4	75.8	77.5	71.9	70.1	68.2	67.3	63.3
販売単価 (前年同期比)	24.5	23.6	33.0	32.5	34.4	26.9	31.2	26.0	23.2	20.8
従業員 (今期の過不足)	▲ 25.8	▲ 24.5	▲ 31.9	▲ 27.0	▲ 27.9	▲ 26.5	▲ 26.7	▲ 28.3	▲ 25.5	-
新規設備投資した割合	14.4	22.1	15.8	19.5	15.3	14.9	15.8	17.6	16.2	16.2

※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇・黒字)割合から減少(悪化・低下・赤字)割合を差し引いた値を示す。

○ 来期見通



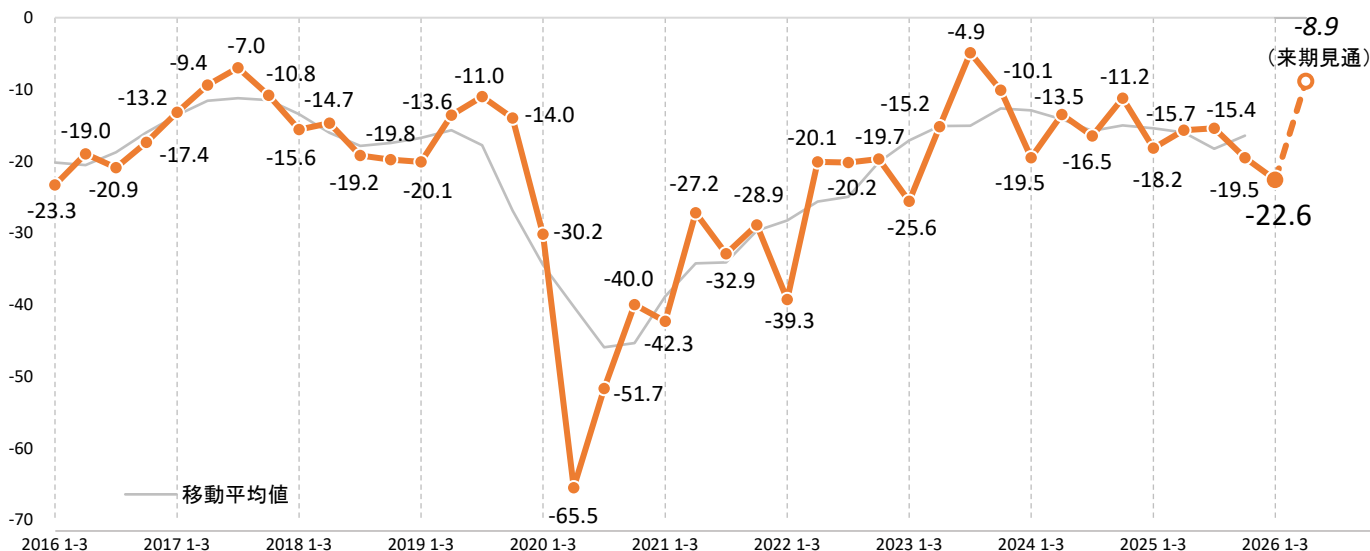
I. 業況

1. 今期

前年同期比

(2025年1~3月期の水準と比較した今期の業況)

全業種平均D・I 《好転—悪化》



業種別D・I値

業種	今回	内訳			前回
		好転	不変	悪化	
全業種	▲ 22.6	11.0%	55.4%	33.6%	▲ 19.5
製造	▲ 35.2	7.4%	50.0%	42.6%	▲ 40.7
建設	▲ 20.0	11.4%	57.2%	31.4%	▲ 18.3
卸売	▲ 22.2	11.1%	55.6%	33.3%	▲ 20.3
小売	▲ 19.4	14.9%	50.8%	34.3%	▲ 11.7
サービス	▲ 16.3	10.2%	63.3%	26.5%	▲ 6.3

■好転 □不変 ■悪化

前期比

(2025年10~12月期の水準と比較した今期の業況)

業種別D・I値

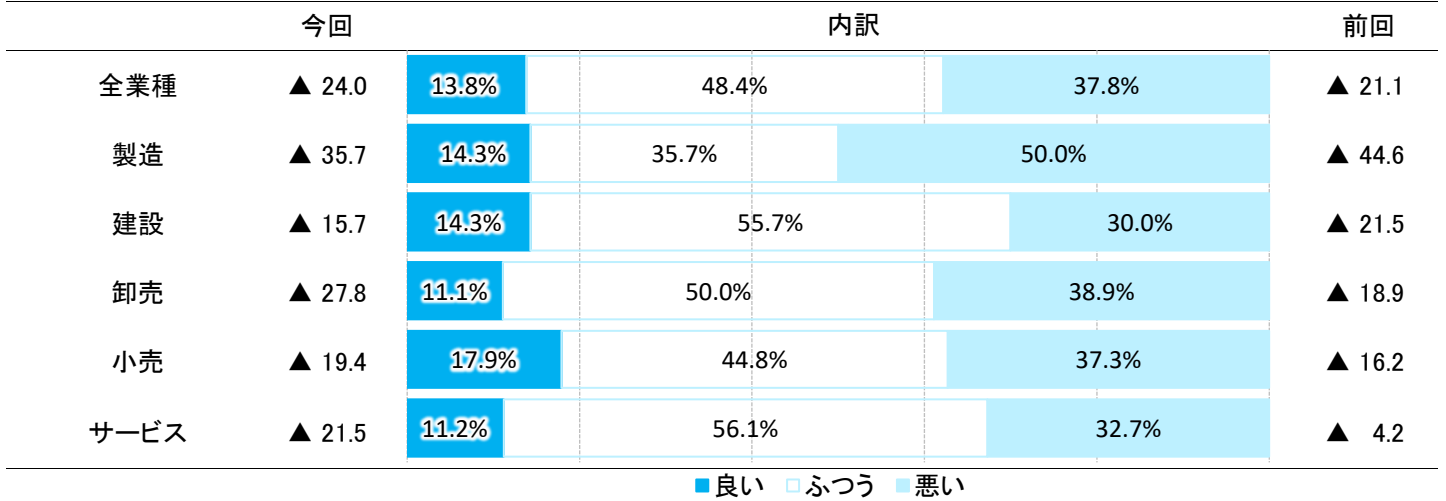
業種	今回	内訳			前回
		好転	不変	悪化	
全業種	▲ 19.6	11.5%	57.4%	31.1%	▲ 14.9
製造	▲ 38.2	7.3%	47.2%	45.5%	▲ 21.8
建設	▲ 11.4	15.7%	57.2%	27.1%	▲ 8.7
卸売	▲ 14.8	13.0%	59.2%	27.8%	▲ 14.8
小売	▲ 15.0	13.4%	58.2%	28.4%	▲ 19.7
サービス	▲ 18.3	8.2%	65.3%	26.5%	▲ 9.5

■好転 □不変 ■悪化

今期の水準

(2026年1~3月期の水準)

業種別D・I値

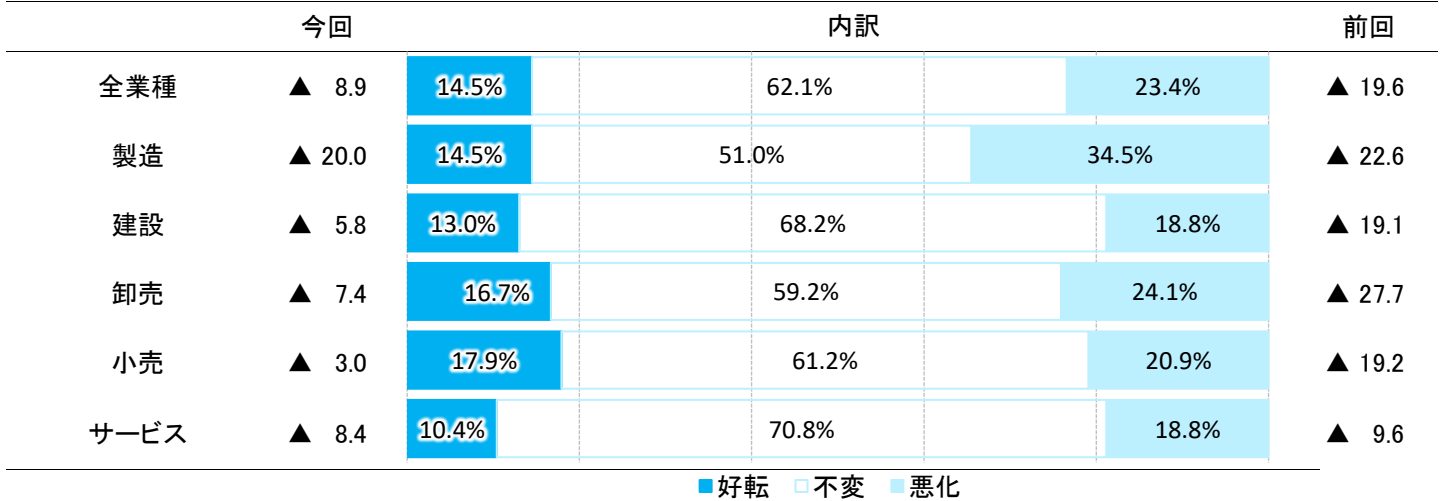


2. 来期

前年同期比

(2025年4~6月期の水準と比較した来期の見通し)

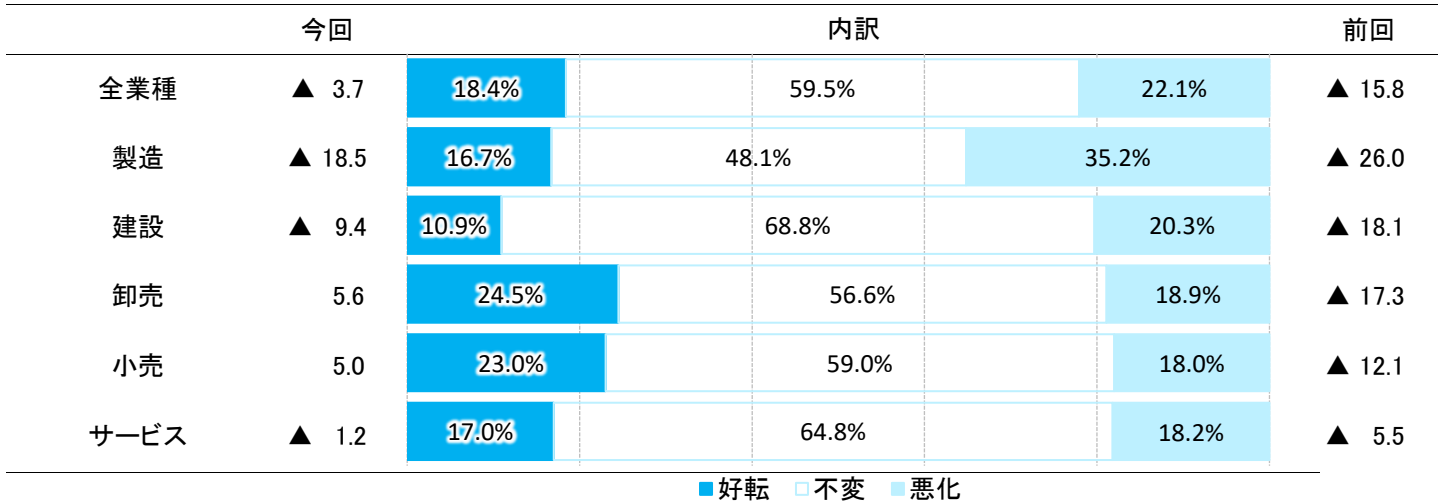
業種別D・I値



今期比

(2026年1~3月期の水準と比較した来期の見通し)

業種別D・I値



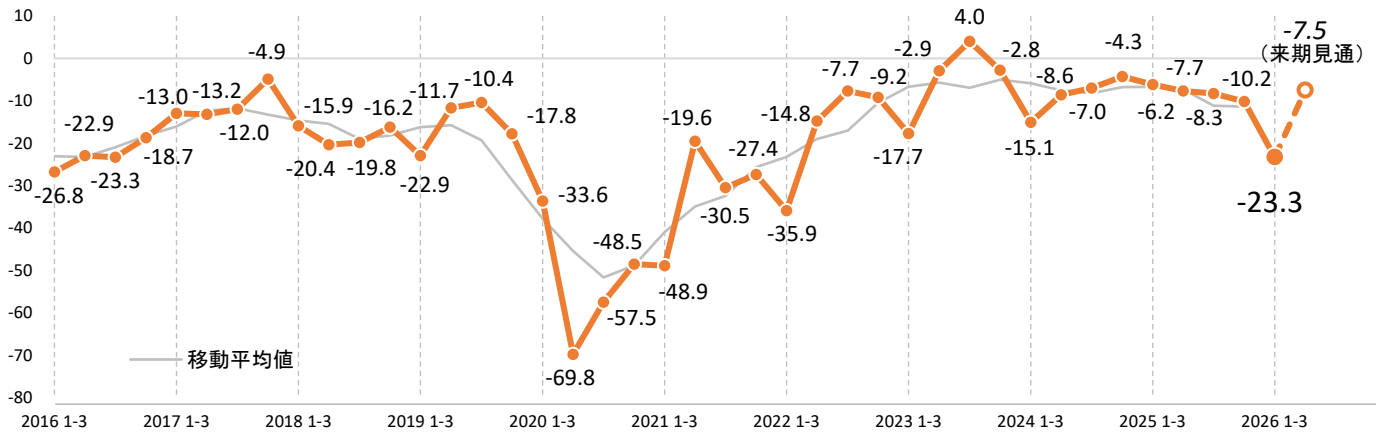
Ⅱ. 売上高

1. 今期

前年同期比

(2025年1～3月期の水準と比較した今期の売上高)

全業種平均D・I ≪増加－減少≫



業種別D・I値

業種	今回	内訳			前回
		増加	不変	減少	
全業種	▲ 23.3	17.8%	41.1%	41.1%	▲ 10.2
製造	▲ 33.9	14.3%	37.5%	48.2%	▲ 14.3
建設	▲ 31.4	12.9%	42.8%	44.3%	▲ 28.2
卸売	▲ 32.1	13.2%	41.5%	45.3%	▲ 11.1
小売	▲ 4.4	28.4%	38.8%	32.8%	▲ 2.9
サービス	▲ 14.3	20.4%	44.9%	34.7%	5.3

■増加 □不変 ■減少

前期比

(2025年10～12月期の水準と比較した今期の売上高)

業種別D・I値

業種	今回	内訳			前回
		増加	不変	減少	
全業種	▲ 27.7	16.9%	38.5%	44.6%	▲ 1.2
製造	▲ 37.5	8.9%	44.7%	46.4%	▲ 7.2
建設	▲ 21.4	22.9%	32.8%	44.3%	▲ 4.3
卸売	▲ 37.7	13.2%	35.9%	50.9%	3.8
小売	▲ 23.9	20.9%	34.3%	44.8%	▲ 2.9
サービス	▲ 18.3	18.4%	44.9%	36.7%	4.2

■増加 □不変 ■減少

2. 来期

前年同期比

(2025年4～6月期の水準と比較した来期の見通し)

業種別D・I値

業種	今回	内訳			前回
		増加	不変	減少	
全業種	▲ 7.5	21.7%	49.1%	29.2%	▲ 15.3
製造	▲ 12.5	21.4%	44.7%	33.9%	▲ 22.6
建設	▲ 13.0	14.5%	58.0%	27.5%	▲ 27.1
卸売	▲ 5.8	26.9%	40.4%	32.7%	▲ 20.3
小売	0.0	28.4%	43.2%	28.4%	▲ 7.3
サービス	▲ 6.2	17.5%	58.8%	23.7%	1.0

■増加 □不変 ■減少

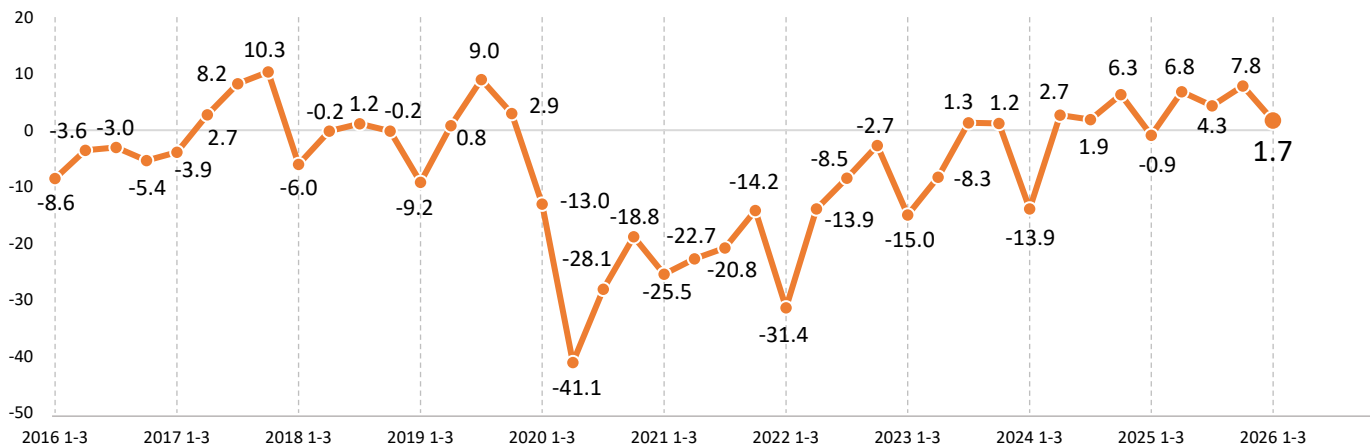
Ⅲ. 採算(経常利益)

1. 今期

今期の水準

(2026年1~3月期の水準)

全業種平均D・I ≪黒字-赤字≫



業種別D・I値

	今回	内訳			前回
全業種	1.7	27.8%	46.1%	26.1%	7.8
製造	▲ 21.9	14.5%	49.1%	36.4%	▲ 3.6
建設	15.7	35.7%	44.3%	20.0%	12.8
卸売	7.4	29.6%	48.2%	22.2%	11.3
小売	0.0	28.4%	43.2%	28.4%	2.9
サービス	7.1	30.6%	45.9%	23.5%	15.7

■黒字 □収支トントン ■赤字

前年同期比

(2025年1~3月期の水準と比較した今期の採算)

業種別D・I値

	今回	内訳			前回
全業種	▲ 23.5	10.9%	54.7%	34.4%	▲ 23.5
製造	▲ 32.7	10.9%	45.5%	43.6%	▲ 30.9
建設	▲ 21.8	10.1%	58.0%	31.9%	▲ 32.3
卸売	▲ 27.7	9.3%	53.7%	37.0%	▲ 27.8
小売	▲ 16.6	15.2%	53.0%	31.8%	▲ 14.8
サービス	▲ 18.4	9.2%	63.2%	27.6%	▲ 11.5

■好転 □不変 ■悪化

2. 来期

前年同期比

(2025年4~6月期の水準と比較した来期の見通し)

業種別D・I値

	今回	内訳			前回
全業種	▲ 13.9	12.6%	60.9%	26.5%	▲ 19.0
製造	▲ 26.4	11.3%	51.0%	37.7%	▲ 25.0
建設	▲ 11.6	11.6%	65.2%	23.2%	▲ 22.9
卸売	▲ 13.0	14.8%	57.4%	27.8%	▲ 24.1
小売	▲ 6.0	15.2%	63.6%	21.2%	▲ 14.7
サービス	▲ 12.4	10.3%	67.0%	22.7%	▲ 8.4

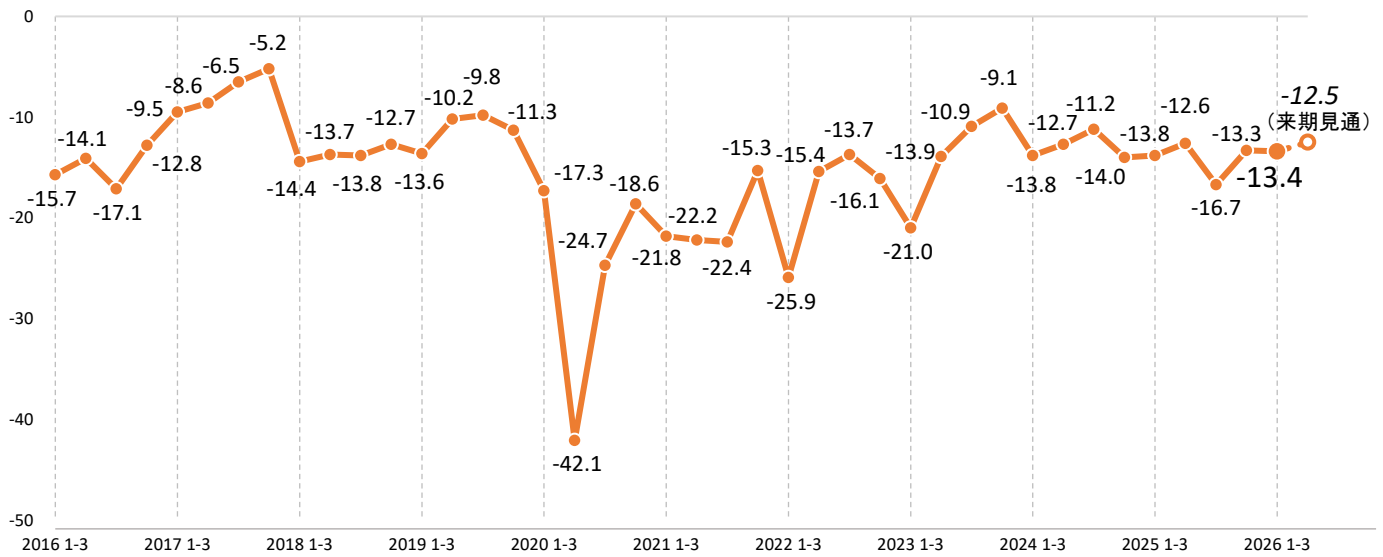
■好転 □不変 ■悪化

IV. 資金繰り

1. 今期

前年同期比

(2025年1~3月期の水準と比較した今期の資金繰り)



業種別D・I値

業種	今回	内訳			前回
		好転	不変	悪化	
全業種	▲ 13.4	6.2%	74.2%	19.6%	▲ 13.3
製造	▲ 25.5	0.0%	74.5%	25.5%	▲ 14.5
建設	▲ 5.8	7.1%	80.0%	12.9%	▲ 11.4
卸売	▲ 13.4	5.8%	75.0%	19.2%	▲ 11.5
小売	▲ 16.9	10.8%	61.5%	27.7%	▲ 15.2
サービス	▲ 5.4	7.4%	79.8%	12.8%	▲ 13.8

■好転 □不変 ■悪化

2. 来期

前年同期比

(2025年4~6月期の水準と比較した来期の見通し)

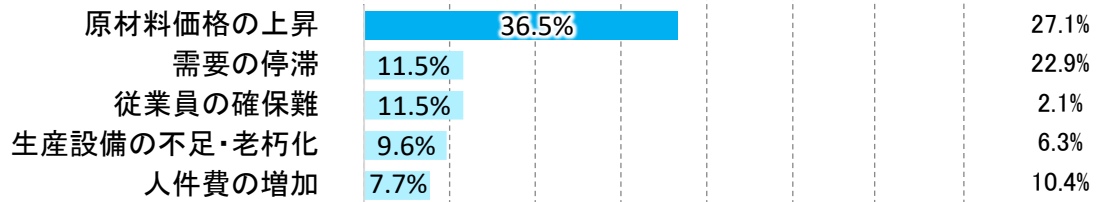
業種別D・I値

業種	今回	内訳			前回
		好転	不変	悪化	
全業種	▲ 12.5	4.5%	78.5%	17.0%	▲ 16.3
製造	▲ 18.5	1.9%	77.7%	20.4%	▲ 18.8
建設	▲ 14.5	1.4%	82.7%	15.9%	▲ 18.9
卸売	▲ 18.9	1.9%	77.3%	20.8%	▲ 13.2
小売	▲ 7.6	10.6%	71.2%	18.2%	▲ 22.3
サービス	▲ 3.2	6.5%	83.8%	9.7%	▲ 8.6

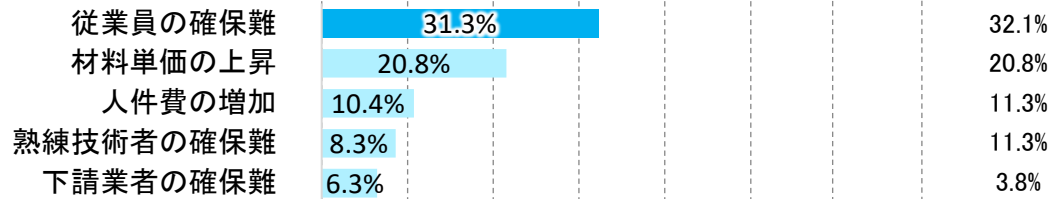
■好転 □不変 ■悪化

V. 経営上の問題点(上位5項目)

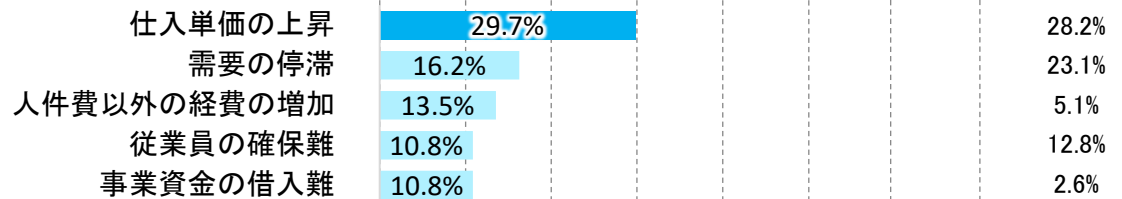
製造業



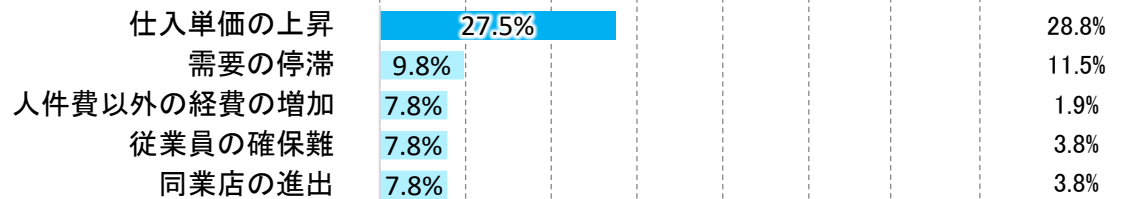
建設業



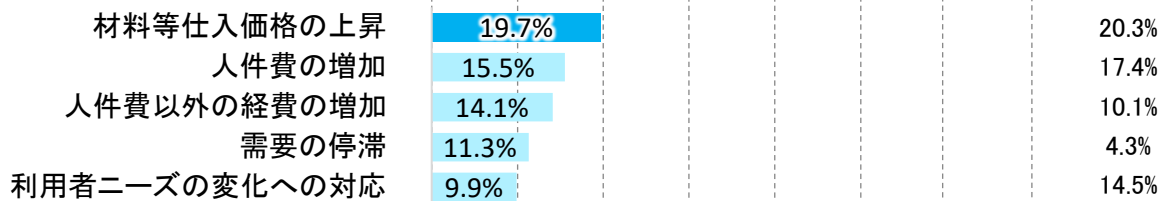
卸売業



小売業



サービス業



VI. 従業員の動向

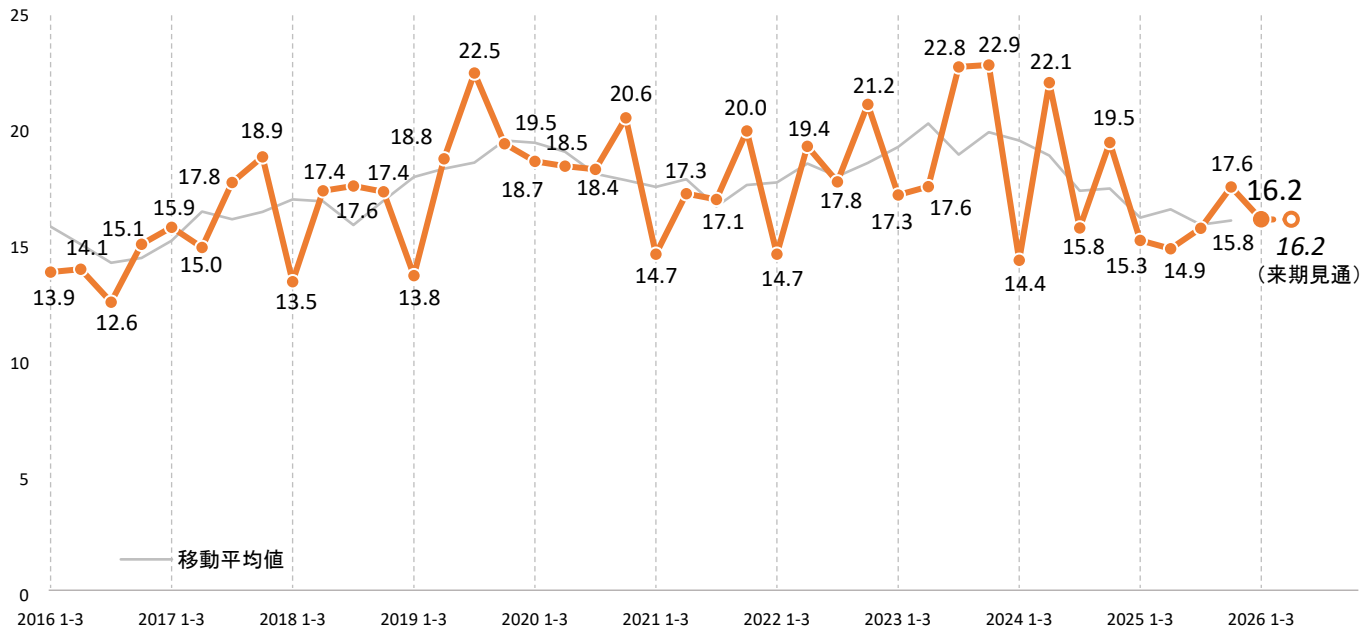
業種別D・I値

業種	今回		内訳		前回
	値	変動	過剰	不足	
全業種	▲ 25.5	2.9%	68.7%	28.4%	▲ 28.3
製造	▲ 23.1	3.8%	69.3%	26.9%	▲ 18.8
建設	▲ 47.1	2.9%	47.1%	50.0%	▲ 44.2
卸売	▲ 16.0	2.0%	80.0%	18.0%	▲ 22.0
小売	▲ 16.7	0.0%	83.3%	16.7%	▲ 23.9
サービス	▲ 24.7	5.6%	64.1%	30.3%	▲ 32.5

■ 過剰 □ 適正 ■ 不足

VII. 新規設備投資

新規設備投資実施の動向(全業種平均%)



1. 今期

(単位%)

	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業
実施した	16.2	17.9	17.1	14.8	17.9	13.3
土地	3.3	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
工場建物、建物、店舗	6.9	10.0	0.0	0.0	16.7	7.7
生産・販売・サービス設備、建設機械	21.6	60.0	8.3	0.0	16.7	23.1
車両運搬具	36.8	40.0	66.7	37.5	16.7	23.1
倉庫・駐車場等の付帯施設	3.3	0.0	8.3	0.0	8.3	0.0
OA機器	29.1	20.0	25.0	37.5	16.7	46.2
厚生施設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	13.5	10.0	0.0	25.0	25.0	7.7
実施していない	83.8	82.1	82.9	85.2	82.1	86.7

2. 来期

(単位%)

	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業
実施する	16.2	19.6	22.9	14.8	10.4	13.3
土地	10.6	0.0	25.0	12.5	0.0	15.4
工場建物、建物、店舗	13.1	9.1	18.8	0.0	14.3	23.1
生産・販売・サービス設備、建設機械	37.6	63.6	12.5	0.0	42.9	69.2
車両運搬具	38.4	9.1	50.0	37.5	57.1	38.5
倉庫・駐車場等の付帯施設	10.9	9.1	12.5	25.0	0.0	7.7
OA機器	22.9	18.2	25.0	25.0	0.0	46.2
厚生施設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	12.2	9.1	12.5	25.0	14.3	0.0
実施しない	83.8	80.4	77.1	85.2	89.6	86.7

製造業

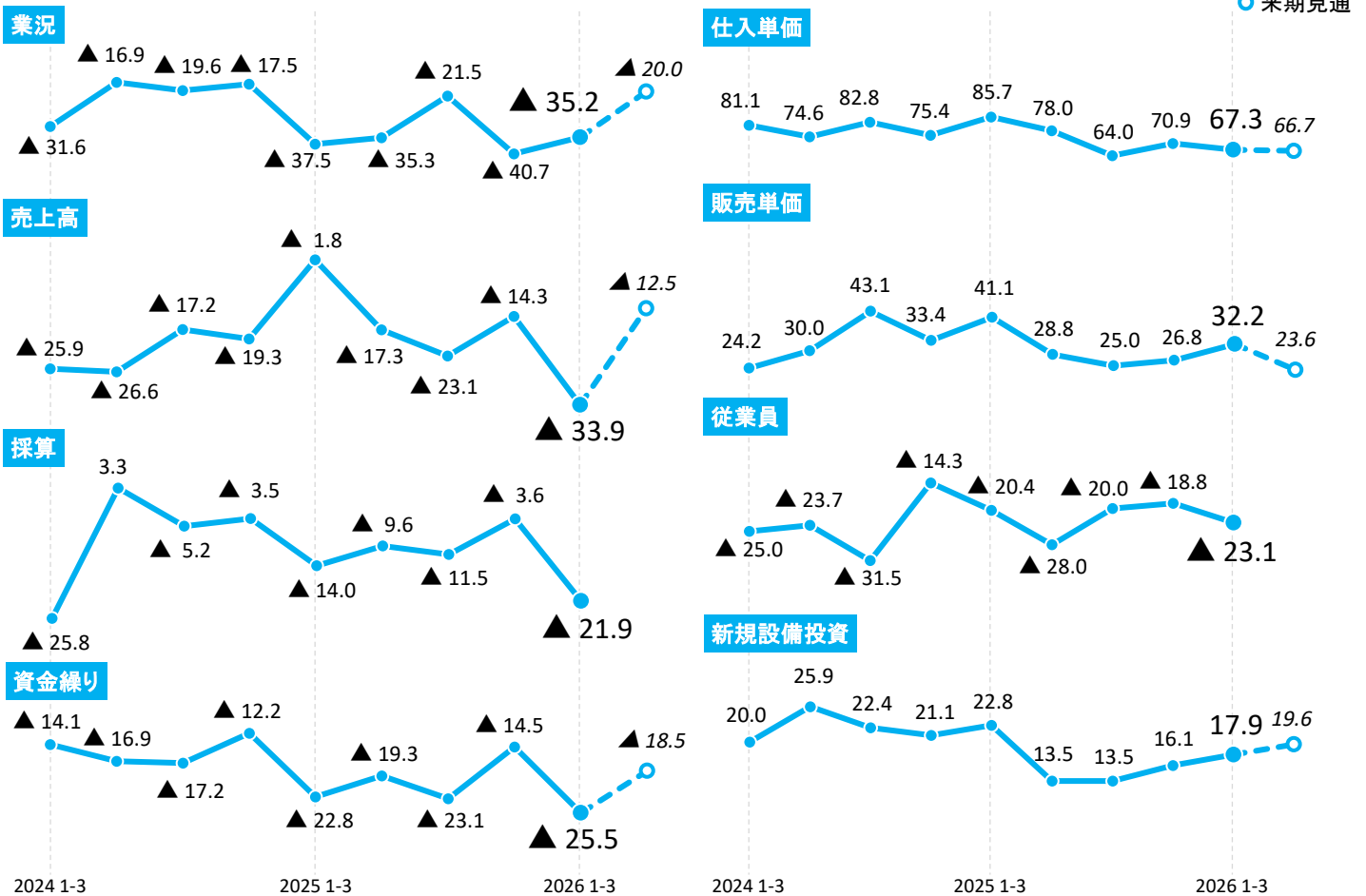
■主なコメント

- ・ここ数年は新卒採用や社員の生活のため3~4%の賃上げを実施。今年度も賃上げを予定しており、更なる値上げが鍵となる。より利益率の高い製品主体の販売に注力していく予定。
(自動車・同付属品製造)
- ・円安でエネルギー全般・資材・副原料(卵白粉など)の値上がりに加え人件費上昇もあり、製造原価の上昇は拡大。特に、飲食事業者に対する価格転嫁に苦慮している。
(食品品製造)
- ・インバウンド需要が増えてきている。ホテルや商業施設からの問い合わせが増えており、工場のスタッフが足りないと感じるようになった。
(家具木材製造)

■D・I

	2024 1-3	2024 4-6	2024 7-9	2024 10-12	2025 1-3	2025 4-6	2025 7-9	2025 10-12	2026 1-3	2026 4-6(見通)
業況(前年同期比)	▲ 31.6	▲ 16.9	▲ 19.6	▲ 17.5	▲ 37.5	▲ 35.3	▲ 21.5	▲ 40.7	▲ 35.2	▲ 20.0
売上高(前年同期比)	▲ 25.9	▲ 26.6	▲ 17.2	▲ 19.3	▲ 1.8	▲ 17.3	▲ 23.1	▲ 14.3	▲ 33.9	▲ 12.5
採算(今期の経常損益)	▲ 25.8	3.3	▲ 5.2	▲ 3.5	▲ 14.0	▲ 9.6	▲ 11.5	▲ 3.6	▲ 21.9	-
資金繰り(前年同期比)	▲ 14.1	▲ 16.9	▲ 17.2	▲ 12.2	▲ 22.8	▲ 19.3	▲ 23.1	▲ 14.5	▲ 25.5	▲ 18.5
仕入単価(前年同期比)	81.1	74.6	82.8	75.4	85.7	78.0	64.0	70.9	67.3	66.7
販売単価(前年同期比)	24.2	30.0	43.1	33.4	41.1	28.8	25.0	26.8	32.2	23.6
従業員(今期の過不足)	▲ 25.0	▲ 23.7	▲ 31.5	▲ 14.3	▲ 20.4	▲ 28.0	▲ 20.0	▲ 18.8	▲ 23.1	-
新規設備投資した割合	20.0	25.9	22.4	21.1	22.8	13.5	13.5	16.1	17.9	19.6

※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇・黒字)割合から減少(悪化・低下・赤字)割合を差し引いた値を示す。



建設業

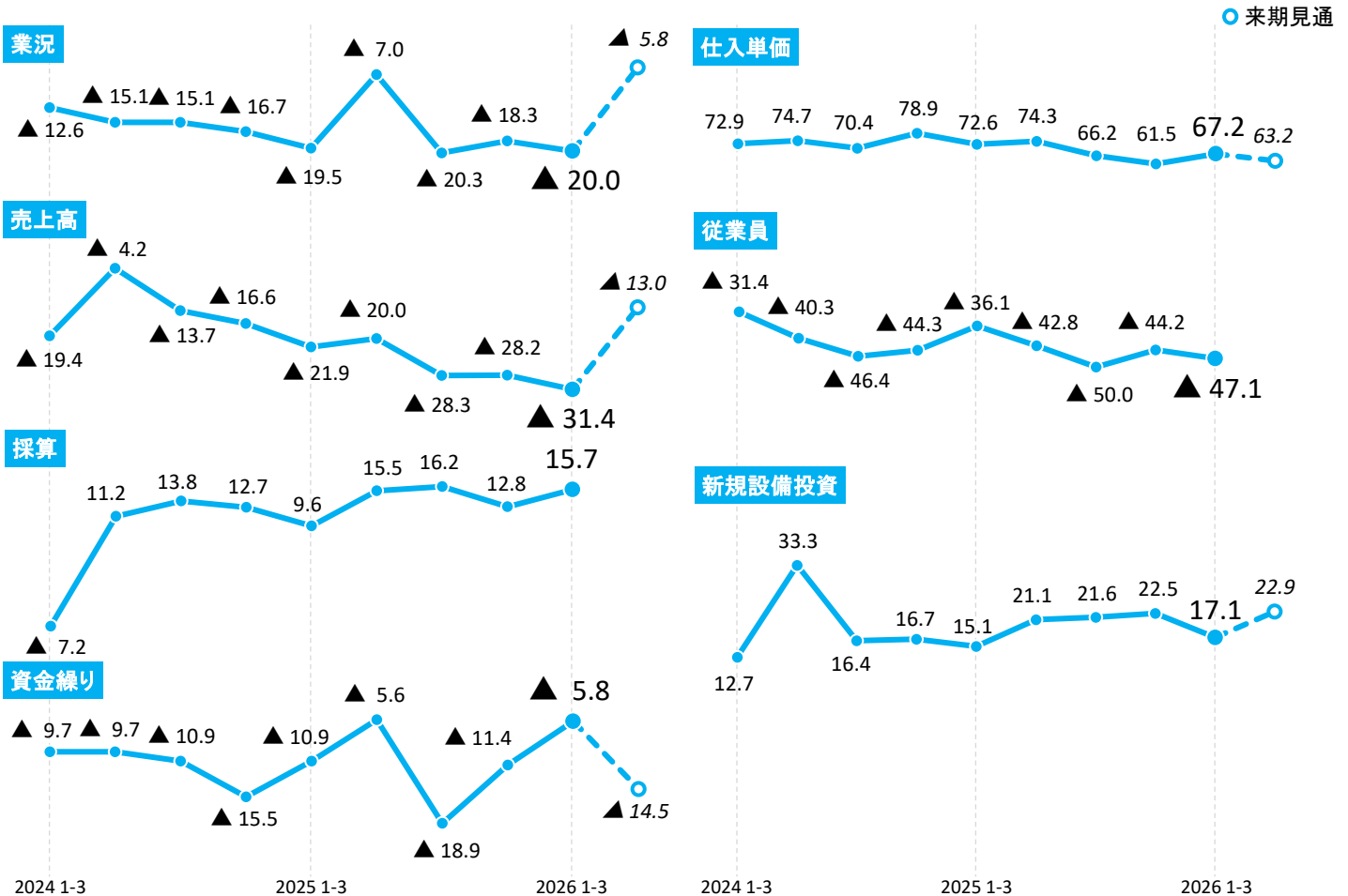
■主なコメント

- ・加工資材価格の上昇傾向が引き続きみられる。秋にかけて値上げのアナウンスが複数社から届いている。防衛関連の発注は多くあるが、実態の労務費と公共工事単価に乖離あり、入札を辞退する企業が増えたと聞いている。 (設備工事)
- ・求人しても応募なく、深刻な採用難に直面している。ベースアップや手当拡充等に取り組むも負担は大きい。需要面では、長引く建築費高騰と金利上昇のダブルパンチで施主の投資意欲が冷え込み、今後を危惧している。 (その他設備)
- ・原材料価格、人件費、その他経費いずれも上昇しており採算が取れない。これら経費の上昇が続く中、工程改善などの企業努力を行っているが、経費上昇に追いつかず無駄に思えてくる。 (設備工事)

■D・I

	2024 1-3	2024 4-6	2024 7-9	2024 10-12	2025 1-3	2025 4-6	2025 7-9	2025 10-12	2026 1-3	2026 4-6(見通)
業況 (前年同期比)	▲ 12.6	▲ 15.1	▲ 15.1	▲ 16.7	▲ 19.5	▲ 7.0	▲ 20.3	▲ 18.3	▲ 20.0	▲ 5.8
売上高 (前年同期比)	▲ 19.4	▲ 4.2	▲ 13.7	▲ 16.6	▲ 21.9	▲ 20.0	▲ 28.3	▲ 28.2	▲ 31.4	▲ 13.0
採算 (今期の経常損益)	▲ 7.2	11.2	13.8	12.7	9.6	15.5	16.2	12.8	15.7	-
資金繰り (前年同期比)	▲ 9.7	▲ 9.7	▲ 10.9	▲ 15.5	▲ 10.9	▲ 5.6	▲ 18.9	▲ 11.4	▲ 5.8	▲ 14.5
仕入単価 (前年同期比)	72.9	74.7	70.4	78.9	72.6	74.3	66.2	61.5	67.2	63.2
販売単価 (前年同期比)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
従業員 (今期の過不足)	▲ 31.4	▲ 40.3	▲ 46.4	▲ 44.3	▲ 36.1	▲ 42.8	▲ 50.0	▲ 44.2	▲ 47.1	-
新規設備投資した割合	12.7	33.3	16.4	16.7	15.1	21.1	21.6	22.5	17.1	22.9

※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇・黒字)割合から減少(悪化・低下・赤字)割合を差し引いた値を示す。



卸売業

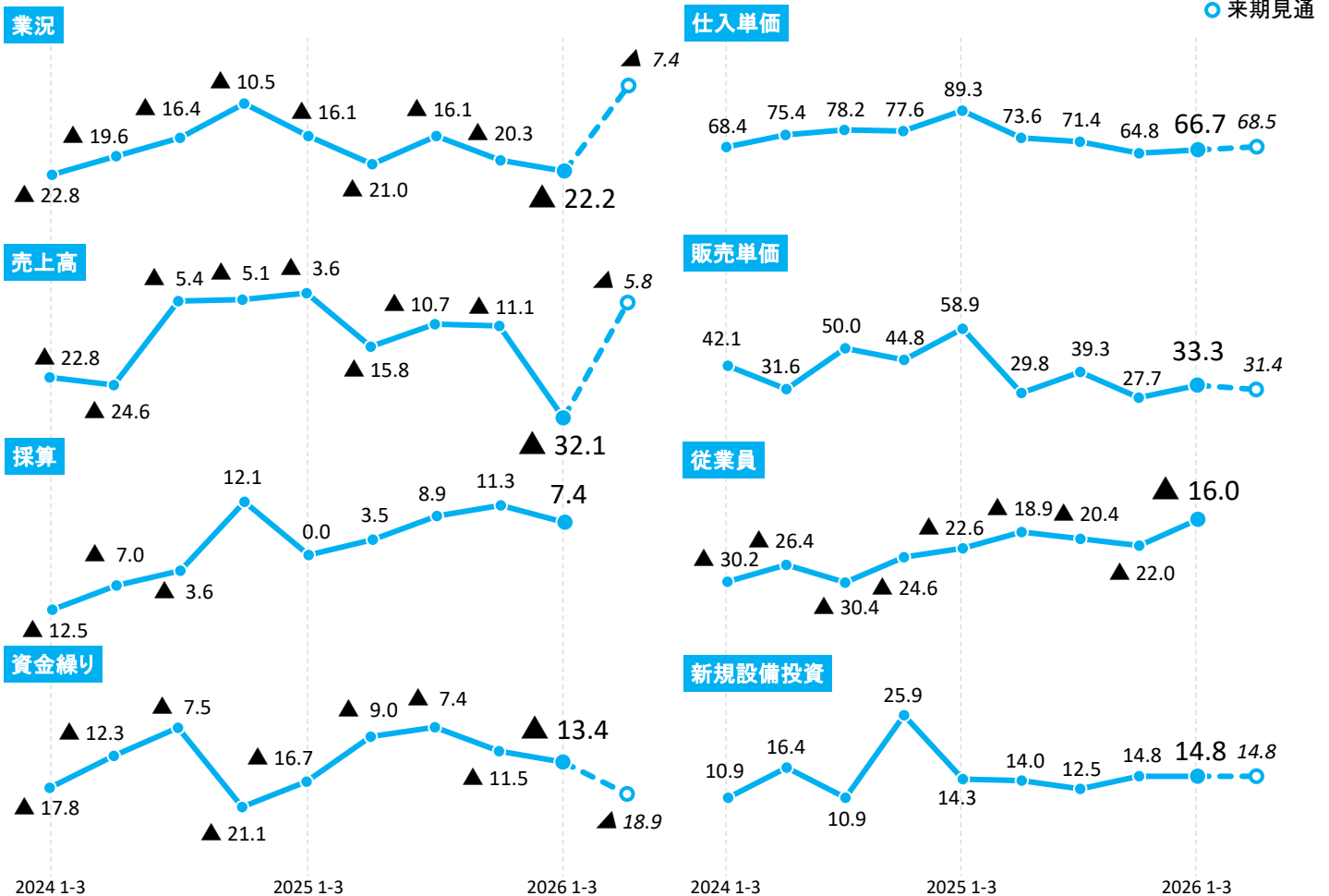
■主なコメント

- ・アメリカ・イスラエルによるイラン攻撃に伴い、一部仕入先から出荷制限の通知が発せられており、今後の売上への影響が懸念される。(包装資材等卸)
- ・大雪及び除排雪遅れによる影響が大きかった。グループホーム・保育園・小学校の休園、休校に伴う給食キャンセル対応及び配送費負担が増加。(食料・飲料卸)
- ・多くの仕入先から4月から値上げの依頼が来ており、得意先への対応が課題。(機械鋼材卸)

■D・I

	2024 1-3	2024 4-6	2024 7-9	2024 10-12	2025 1-3	2025 4-6	2025 7-9	2025 10-12	2026 1-3	2026 4-6(見通)
業況 (前年同期比)	▲ 22.8	▲ 19.6	▲ 16.4	▲ 10.5	▲ 16.1	▲ 21.0	▲ 16.1	▲ 20.3	▲ 22.2	▲ 7.4
売上高 (前年同期比)	▲ 22.8	▲ 24.6	▲ 5.4	▲ 5.1	▲ 3.6	▲ 15.8	▲ 10.7	▲ 11.1	▲ 32.1	▲ 5.8
採算 (今期の経常損益)	▲ 12.5	▲ 7.0	▲ 3.6	12.1	0.0	3.5	8.9	11.3	7.4	-
資金繰り (前年同期比)	▲ 17.8	▲ 12.3	▲ 7.5	▲ 21.1	▲ 16.7	▲ 9.0	▲ 7.4	▲ 11.5	▲ 13.4	▲ 18.9
仕入単価 (前年同期比)	68.4	75.4	78.2	77.6	89.3	73.6	71.4	64.8	66.7	68.5
販売単価 (前年同期比)	42.1	31.6	50.0	44.8	58.9	29.8	39.3	27.7	33.3	31.4
従業員 (今期の過不足)	▲ 30.2	▲ 26.4	▲ 30.4	▲ 24.6	▲ 22.6	▲ 18.9	▲ 20.4	▲ 22.0	▲ 16.0	-
新規設備投資した割合	10.9	16.4	10.9	25.9	14.3	14.0	12.5	14.8	14.8	14.8

※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇・黒字)割合から減少(悪化・低下・赤字)割合を差し引いた値を示す。



小売業

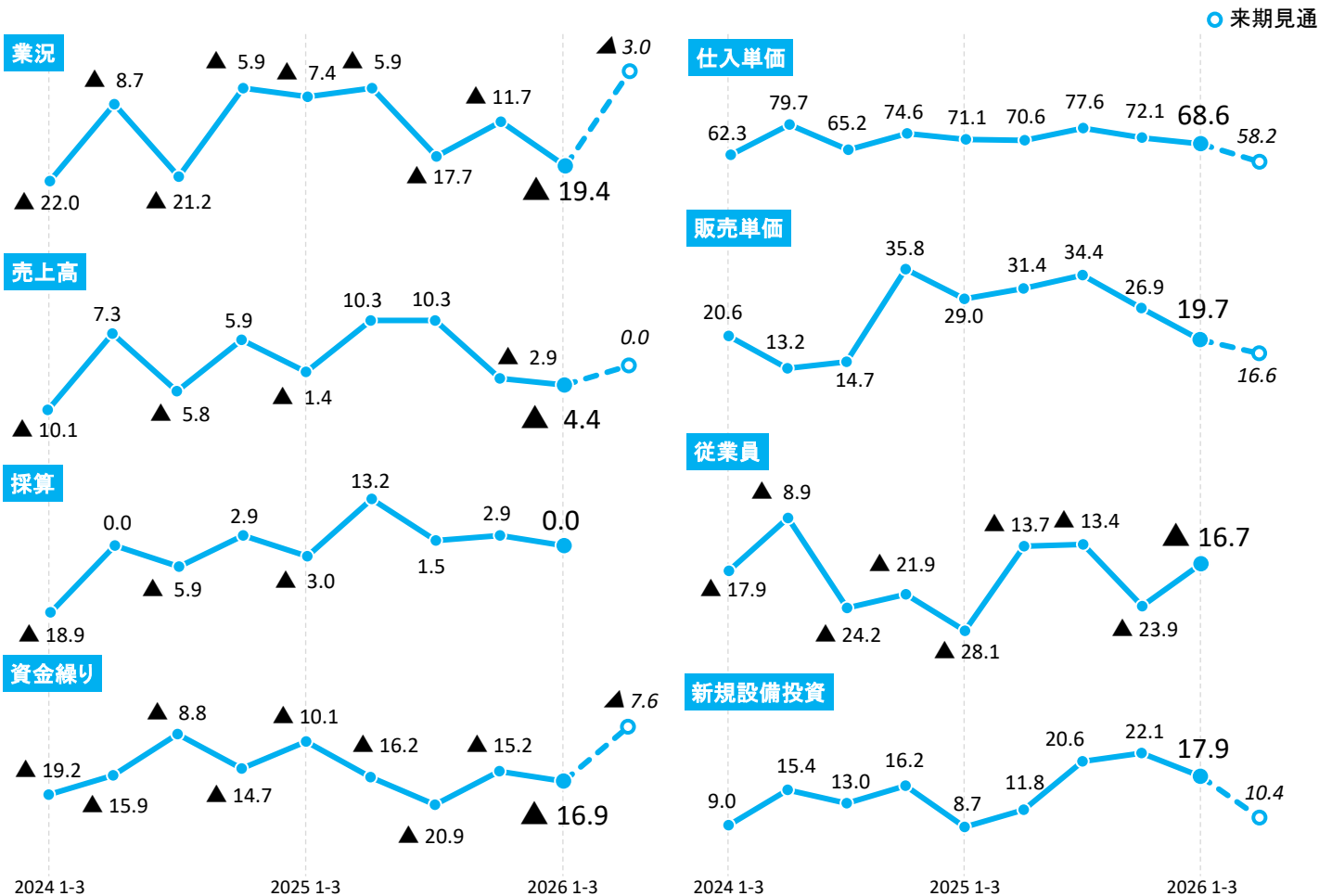
■主なコメント

- ・客数は前年を維持しているが、依然として販売点数が落ちている。相場が安い青果物を除き生鮮食品がよくない。供給不足の続いているタマゴも同様で点数減少。(食料品小売)
- ・オンラインで越境販売が増えてきた(中東・欧米・韓国)。店舗への来店数は伸び悩みだが、新聞等のメディアに露出したことで、一時的にでも来店・問い合わせが増えた。(木工製品小売)
- ・ガソリンの暫定税率廃止により売上高は減少。また、多雪により洗車需要が低迷する一方で、除雪による軽油需要、暖房燃料の需要は堅調に推移している。(燃料小売)

■D・I

	2024 1-3	2024 4-6	2024 7-9	2024 10-12	2025 1-3	2025 4-6	2025 7-9	2025 10-12	2026 1-3	2026 4-6(見通)
業況 (前年同期比)	▲ 22.0	▲ 8.7	▲ 21.2	▲ 5.9	▲ 7.4	▲ 5.9	▲ 17.7	▲ 11.7	▲ 19.4	▲ 3.0
売上高 (前年同期比)	▲ 10.1	7.3	▲ 5.8	5.9	▲ 1.4	10.3	10.3	▲ 2.9	▲ 4.4	0.0
採算 (今期の経常損益)	▲ 18.9	0.0	▲ 5.9	2.9	▲ 3.0	13.2	1.5	2.9	0.0	-
資金繰り (前年同期比)	▲ 19.2	▲ 15.9	▲ 8.8	▲ 14.7	▲ 10.1	▲ 16.2	▲ 20.9	▲ 15.2	▲ 16.9	▲ 7.6
仕入単価 (前年同期比)	62.3	79.7	65.2	74.6	71.1	70.6	77.6	72.1	68.6	58.2
販売単価 (前年同期比)	20.6	13.2	14.7	35.8	29.0	31.4	34.4	26.9	19.7	16.6
従業員 (今期の過不足)	▲ 17.9	▲ 8.9	▲ 24.2	▲ 21.9	▲ 28.1	▲ 13.7	▲ 13.4	▲ 23.9	▲ 16.7	-
新規設備投資した割合	9.0	15.4	13.0	16.2	8.7	11.8	20.6	22.1	17.9	10.4

※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇・黒字)割合から減少(悪化・低下・赤字)割合を差し引いた値を示す。



サービス業

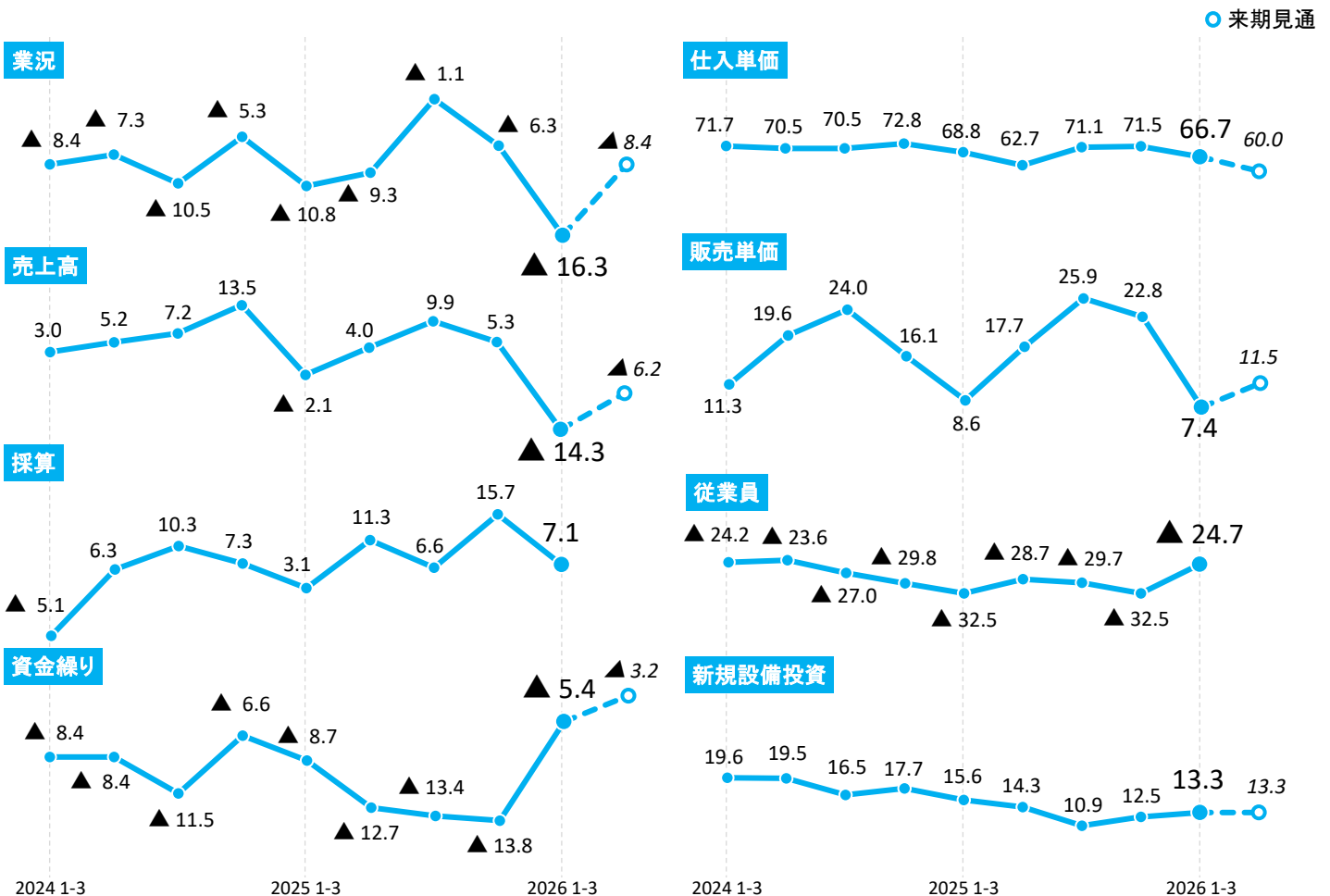
■主なコメント

- ・インバウンドによる外国人客は増加する一方、国内利用者は大きく減少。単価上昇による影響、ビジネス利用者は出張コストが大きくなり、宿泊できないという声が増えた。（ホテル旅館業）
- ・円安と中東情勢の悪化によりさらに原材料価格・エネルギー価格などの経費が上昇しており、消費動向の冷え込みが懸念される。（飲食業）
- ・観光客比率が高まっているが、高市首相の発言による中国人観光客の減少が売上に響いている。また、扶養控除額の上限は、最低賃金の上昇を考えると撤廃希望。米国によるイラン攻撃も大きな不安材料としてある。（飲食業）

■D・I

	2024 1-3	2024 4-6	2024 7-9	2024 10-12	2025 1-3	2025 4-6	2025 7-9	2025 10-12	2026 1-3	2026 4-6(見通)
業況 (前年同期比)	▲ 8.4	▲ 7.3	▲ 10.5	▲ 5.3	▲ 10.8	▲ 9.3	▲ 1.1	▲ 6.3	▲ 16.3	▲ 8.4
売上高 (前年同期比)	3.0	5.2	7.2	13.5	▲ 2.1	4.0	9.9	5.3	▲ 14.3	▲ 6.2
採算 (今期の経常損益)	▲ 5.1	6.3	10.3	7.3	3.1	11.3	6.6	15.7	7.1	-
資金繰り (前年同期比)	▲ 8.4	▲ 8.4	▲ 11.5	▲ 6.6	▲ 8.7	▲ 12.7	▲ 13.4	▲ 13.8	▲ 5.4	▲ 3.2
仕入単価 (前年同期比)	71.7	70.5	70.5	72.8	68.8	62.7	71.1	71.5	66.7	60.0
販売単価 (前年同期比)	11.3	19.6	24.0	16.1	8.6	17.7	25.9	22.8	7.4	11.5
従業員 (今期の過不足)	▲ 24.2	▲ 23.6	▲ 27.0	▲ 29.8	▲ 32.5	▲ 28.7	▲ 29.7	▲ 32.5	▲ 24.7	-
新規設備投資した割合	19.6	19.5	16.5	17.7	15.6	14.3	10.9	12.5	13.3	13.3

※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇・黒字)割合から減少(悪化・低下・赤字)割合を差し引いた値を示す。



VIII. 調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点 2026年3月
(2) 調査対象期間 2026年1～3月期実績及び2026年4～6月期見通し

2. 調査対象

(1) 中小企業景況調査

「製造業」、「建設業」については、資本金3億円以下、又は従業員300人以下の企業、
「卸売業」については、資本金1億円以下、または従業員100人以下の企業、
「小売業」については、資本金5千万円以下、または従業員50人以下の企業、
「サービス業」については、資本金5千万円以下、または従業員100人以下の企業を対象とした。

(2) 業界動向調査

道内各地商工会議所が地域の中小企業者との相談等により情報収集した特徴的事例。
また、各業界組合・企業に対し独自に聞き取り調査を実施し、生の声を収集した。

3. 調査地域及び調査方法

全道商工会議所地域の中小企業に対しアンケート調査を実施(中小企業景況調査)
全道商工会議所を通じて地域の業界・組合等へヒアリング調査を実施(業界動向調査)

4. 業種別・規模別回答状況(社数)

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
小規模	42	55	37	57	73	264
中規模	14	15	17	10	25	81
合計	56	70	54	67	98	345
構成比	16.2%	20.3%	15.7%	19.4%	28.4%	100.0%

〈業界動向調査〉

ヒアリング先

製造業 40社、建設業 34社、卸売業 23社、
小売業 29社、サービス業 44社 合計 170社

■過去の調査結果はコチラ



【URL】 <https://www.hokkaido.cci.or.jp/demand/research/>

D・Iとは…

本調査結果中の「D・I」とある記号は、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、各調査項目についての増加(好転・上昇)企業割合から減少(悪化・低下)企業割合を差引いた値(景気動向指数)を示す。